



BlueBay
Asset Management

2017年1月12日

米国での進展と個別イベントがエマージング市場を左右



デビッド・ダウセット

パートナー

エマージング債チーム(コ・ヘッド、国債)

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

トランプ氏が米大統領選に勝利して以降みられる金融市場のトレンドは今後も続くと考えています

積極財政への予想、ハト派姿勢を緩めた米連邦準備制度理事会(FRB)、アメリカを再び偉大にする("Make America Great Again")ための保護主義手法、などから米国債金利及び米ドルは上昇を続けるものと思われま

す。比較的コンセンサスに近い見方ではありますが、就任式以降の失望に対して市場は準備が出来ていないと考えています。新政権は、国内経済にとってプラスに働くような税制及び貿易策を最初にしっかりと取っていくと考えています。

エマージング市場は、米国での進展に先行して動くと考えており、注目される国が数多くあります。メキシコは、トランプ氏が米国の自動車メーカーに対して米国内で生産を行うことを促す発言をしたことから、年の初めから苦戦しています。議会で国境税についての議論が始まるなかで、この圧力は続くと考えています。

中国は年初に人民元の上昇を促すような政策をとり、投資家を驚かせましたが、この動きは短期的なものに留まるとみえています。中国は米国の金融引き締め策とトランプ氏の反貿易的な発言に晒されています。ロシアも米大統領選挙戦において干渉をしていたというニュースがみられました。中東での大きな交渉を目論んでいることから、トランプ氏はプーチン氏との予備的な交渉を引き続き進めていくと考えています。

エマージング市場は、米国での進展に先行して動くと考えています

米国主導の要因のほかにも、注意深くみている材料が多くあります。トルコは一年のスタートが非常に軟調なものとなりました。中央銀行が通貨の下落を無視していると市場に受け止められたことで自業自得のような通貨危機を招いており、企業及び金融セクターにおける米ドルの借入れにより、信用危機への懸念が募っています。中央銀行が利上げを実施するという明確な行動が取られるまではこの状況は続くでしょう。エルドアン大統領の反対姿勢から、こうした政策がすぐに取られる可能性は低いとみられます。

一方で、ブラジルは構造改革への期待感から堅調に推移しています。予想されていたとおり中央銀行は利下げを実施しており、2017年も緩和サイクルが続くとみえています。

需給面に関しては、クレジット債市場では新規発行の回復がみられ、エマージング現地通貨建て債市場でも今年初の起債がありました。アルゼンチンも、近いうちに大型発行を行うとみられています。アルゼンチンは合計200億米ドルの資金調達を必要としていることから、2017年は多くの起債を行う予定であることを認識していますが、もし価格水準が妥当であれば、これは投資機会となると考えています。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
関東財務局長(金商)第1029号
加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点(2017年1月16日)のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡します。当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上